



Point 1

幅広い分野から、知識・情報・技能を得られる。

地域・社会に貢献できる人材を育成

地理学の専門的な知識や技能、広い視野と柔軟な思考力、そして、地域の持続的発展に貢献しようとする積極的な意欲と態度を養うために、立正大学の地理学科では、人文・社会系と自然系を融合させた、4つの幅広い領域から学べる環境を整えています。



1 人文地理学

人口や経済、産業、文化、都市、交通、観光、まちづくり等の地域の構成要素とあわせて、人間活動と地域との関わりを学びます。

学びのキーワード | #人口 #経済・社会 #都市・農村 #産業 #交通 #観光 #景観 #歴史・文化 #地域資源 #地域振興

2 自然地理学

地形や気候、水、植生等の地球上のあらゆる自然現象とあわせて、地域の自然の成り立ちを学びます。

学びのキーワード | #地形 #気候 #水 #植生 #自然災害 #防災 #ハザードマップ #環境保全 #エコトリスム

3 地誌学

日本と世界のさまざまな地域を対象に、自然環境と人間生活との関係から、特定地域における地域的特色を総合的に学びます。

学びのキーワード | #日本 #アジア #ヨーロッパ #アフリカ #南北アメリカ #オセアニア #地域研究 #フィールドワーク #地域性

4 地図・GIS・測量

地図の仕組みや地図表現の基本、地表に存在するものの位置や形を正確に計測する測量技法、現地調査で取得したデータを地理情報システム(GIS)に取り込み地図化する方法を学びます。

学びのキーワード | #地理的技能 #地図の読み #測量技術 #空中写真判読 #地理情報システム #地域データ #主題図作成 #ドローン

約100年の歴史をもつ立正大学の地理学科は、全国の地理学科の中でも最大規模の教員・学生数を誇ります。熊谷キャンパスには地図・専門図書等の資料が充実し、タブレットやGIS環境、最新の測量機器、設備等がそろえられています。

Point 2

フィールドワークを重視した、実践的な学び。

✓ バリエティ豊かな現地調査の機会

1年次はフィールドワークの基礎を学び、2年時からは資料調査・分析の方法、調査計画の立案といった地域調査の手法を習得、3・4年次には実際に現地調査で得られた結果をもとに、図表の作成、分析と考察、ディスカッションをとおしての地域課題の理解等、専門性と応用性を向上。希望者には海外でのフィールドワークを手配する等、豊富な学びの機会を設けています。



✓ 社会での働き方を体験・実践できる

学生の希望に応じ、教員と共に地域連携や地域貢献に取り組みプロジェクトも実施しています。過去には、熊谷や日光の地域活性化や防災対策、ネパール地震で被災した学校に世界地図を贈る活動等を実施。取り組んだ成果をまとめたパンフレット制作にも挑戦。これらの体験は、企画立案力、やり遂げる力、意見を発信する力等、社会での活躍に役立つ能力につながります。



カリキュラム

卒業基準単位数: 126 教養的科目: ≥28 専門科目: ≥78

※2023年4月1日入学者の場合。 ※教養的科目および専門科目の必要最低単位数以上を修得し、卒業基準単位数を充足します。

	1年次	2年次	3年次	4年次
	地理学と地図の基礎を修得 「地理学では何を学ぶのか?」等、多彩な講義と実習をとおして、学修の意味と意義を考えます。	地理学のさまざまな専門の基礎を学び、フィールドワークで地域調査を行うためのスキルを身につけます。	専門性、応用力を向上させる 発展的・応用的な地理学を修得し、地理学の専門家としての力をつけます。	卒業研究に全ての学びを集約 修得した知識や技術を駆使して卒業研究に着手。現地調査をもとにした分析を行い、研究成果について議論します。
必修科目	〈学科基礎科目〉 ・基礎地図学および実習Ⅰ ・基礎地図学および実習Ⅱ	〈学科基礎科目〉 ・地理学基礎セミナー ・フィールドワークⅠ	〈学科基礎科目〉 ・地理学セミナーⅠ ・地理学セミナーⅡ ・フィールドワークⅡ	〈学科基礎科目〉 ・地理学セミナーⅢ ・地理学セミナーⅣ ・卒業研究
選択必修科目		〈学科基礎科目〉 ・地域調査法1(地形) ・地域調査法2(水文) ・地域調査法3(防災) ・地域調査法4(観光) ・地域調査法5(交通) ・地域調査法6(都市) ・地域調査法7(まちづくり) ・地域調査法8(海外) ・地域調査法9(地理教育) ・地域調査法10(自然地理)		
選択科目	〈学科基礎科目〉 ・人文地理学概論 ・自然地理学概論 ・日本地誌 ・アジア・オセアニア地誌 ・ヨーロッパ・アフリカ地誌 ・南北アメリカ地誌 ・地理学基礎巡検 〈学部共通科目〉 ・最上と人間生活 ・都市のアメニティ ・地図と測量の科学 ・マッピング・地球の資源とエネルギー ・地球の構造と進化 ・地球環境システム論 ・生活環境の科学 ・情報社会と倫理 ・環境経済学 ・ジオインフォマティクス ・自然災害のメカニズム	〈学科専門基礎科目〉 ・デジタル地図の基礎 ・地理情報科学の基礎 ・地域アーク分析法 ・地域自然情報の活用 〈学科専門発展科目〉 ・都市地理学 ・工業地理学 ・観光地理学 ・歴史地理学 ・地形学 ・気候学 ・水文学 ・自然計測実習 ・地域文化論 ・地域と民俗 ・首都圏の環境と生活	〈学科専門基礎科目〉 ・農業地理学 ・都市地理学 ・写真判読法および実習 〈学科専門発展科目〉 ・地図画像処理論および実習 ・写真判読法および実習 ・地図表現と地図作成 ・海外調査法およびフィールドワーク1・2・3	〈学部共通科目〉 ・演習学および実習 ・測量学実践実習 ・環境保全活動実習
		〈学科専門基礎科目〉 ・都市と地域の計画 ・人口と地域 ・地域景観の保全と復原 ・流通地域論 ・人間活動と土地利用 ・地域開発と環境両立 ・観光資源とまちづくり ・自然災害と地域 ・災害・防災地図の作成と利用 ・自然公園とエコトリスム ・自然環境とまちづくり ・地域の自然誌 ・地域研究1(アメリカ) ・地域研究2(ドイツ) ・地域研究3(イギリス) ・地域研究4(オーストラリア) ・地域研究5(フィリピン) ・地域研究6(沖縄)	〈学科専門発展科目〉 ・都市と地域の計画 ・人口と地域 ・地域景観の保全と復原 ・流通地域論 ・人間活動と土地利用 ・地域開発と環境両立 ・観光資源とまちづくり ・自然災害と地域 ・災害・防災地図の作成と利用 ・自然公園とエコトリスム ・自然環境とまちづくり ・地域の自然誌 ・地域研究1(アメリカ) ・地域研究2(ドイツ) ・地域研究3(イギリス) ・地域研究4(オーストラリア) ・地域研究5(フィリピン) ・地域研究6(沖縄)	〈学部共通科目〉 ・地理情報システム論および実習 ・地理情報システムの応用および実習 ・社会科・地理歴史教育論Ⅰ ・社会科・地理歴史教育論Ⅱ ・社会科教育論Ⅰ ・社会科教育論Ⅱ
				〈学部共通科目〉 ・熱帯圏の環境 ・水圏圏の環境 ・北極圏の環境 ・環極圏の環境 ・地球環境法政

※学部間相互履修制度がある学部もあります。詳細は各学部へお問い合わせください。 ※カリキュラムは変更される場合があります。

「チカラがつく」

Point
3

学科ならではの、学修サポート体制を完備。

細やかなサポートが可能な
「クラス制」

主な必修科目では、少人数に分かれた「クラス制」での授業スタイルを採用しています。全学年に担任教員がいるため、学修面での細かい指導・サポートが受けられることはもちろん、生活面や就職活動等においても、気軽に相談をしたりアドバイスをもらったりすることができます。



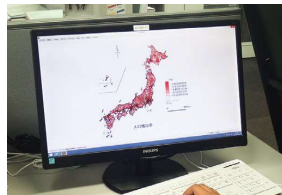
学生同士で助け合う
「エクステンション講座」

教員だけでなく、上級生から授業の内容や課題についてのサポートを得られる「エクステンション講座」を開設。上級生は指導にあたることで、説明する力や自身の理解度向上につながります。



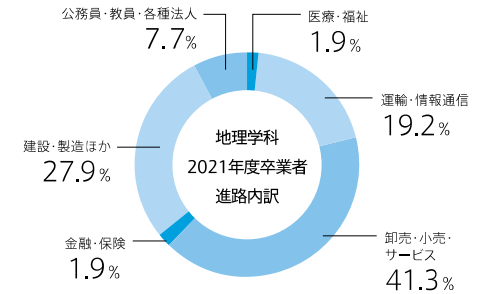
将来に生きる力を伸ばす
「スキルアップ講座」

研究をさらに深め、プレゼンテーションの質を向上させるための「スキルアップ講座」を開設。パソコンのソフトウェア、イラストレーターを用いた作図法、統計解析ソフトSPSSを用いた統計処理等を修得できます。こうした専門性の高い技術は、就職活動や将来にも役立ちます。



地理学科独自の就職サポート

測量や地図・GISといった専門分野に加え、行政、教育、観光、運輸、サービス等の幅広い分野で活躍する学科OB・OGによる講演会を実施しています。また、経験豊富なOB・OG教員による教職キャリア講座や、旅行代理店等での旅行プラン作成、旅行責任管理者を担うための国家資格「**旅行業務取扱管理者資格**」を取得するための、専門家による対策講座を支援しています。



VOICE

学生インタビュー

地理学は、地球上の「理」を学ぶ、
全ての土台となる学問。

さまざまな大学の地理学科を調べましたが、立正大学では1年次から専門科目を履修できるという特徴があり、このスタートラインの違いは、4年間の学びの満足度で他の大学と大きく差が出ることを確信していました。特に1年次から地理情報システム(GIS)に触れられるというのが大きく、私は伊豆半島の地図を制作する作業に挑んだのですが、立正大学でAdobeのイラストレーター等のスキルを磨いていると、もっと見やすくして詳細な地図をつくりたい、観光情報を載せたガイドブックもつくりたいといった意欲が、どんどん湧いてきました。趣味で旅行に出かけた時も、地理学を学ぶ前は何気ない風景だったものが、あの地形にはどんな役割や歴史があるのか、あの商店街はこうしたらもっと活気づくのではないかと、そんな視点やアイデアが普段からあふれてくるように。目に映るもの全てが地理学のフィールドにある。そう言っても過言ではない、色濃く幅広い学びを得ることができています。

地球環境科学部 地理学科 埼玉県立小川高等学校出身



卒業論文テーマ

- 東京都における公衆浴場の分布と地域社会との関係
- 羽田空港後背地における営業倉庫の立地分布と機能
- 豪雨水害被災地における住民の避難行動メカニズムに関する一考察
- 高知市中心市街地における路面電車利用者の行動分析
- 房総半島小櫃川上流における河床形態からみた穿入蛇行の成因と分布
- 山梨交通電車廃止後の旧沿線部および鉄道施設跡における土地利用
- 比企丘陵の谷津田における冬季の北西風流入が放射冷却に与える影響
- 新潟県十日町市における素掘り隧道マップに関する研究
- JR川口駅周辺における高層マンションの立地特性
- 武蔵浦和駅周辺地区の再開発事業における土地利用変化と空間利用特性
- 熊谷市南東部荒川右岸における水屋・水塚の分布と利用状況
- 埼玉県東松山市東平地区における梨を活用した観光農業の取り組みと課題
- 富山市における中心商店街の変容
- 鶴見川水系における水文特性と汚濁負荷量推定



免許・資格

- 【旅行専門職】
 - 国内旅行業務取扱管理者*
 - 総合旅行業務取扱管理者*
 - 国内旅程管理主任者*
- 【不動産・測量専門職】
 - 測量士補
 - 測量士*
 - 技術士補
 - 技術士*
- 【教員免許】
 - 中学校教諭一種免許状(社会)
 - 高等学校教諭一種免許状(地理歴史)
 - 学校図書館司書教諭
- 【行政職】
 - 社会教育主事(任用資格)
 - 社会福祉主事(任用資格)
- 【その他】
 - 博物館学芸員(任用資格)
 - 地域調査士(認定資格)
 - GIS学術士(認定資格)
 - 情報処理技術者*
- 土地家屋調査士*
- 不動産鑑定士*
- 地図地理検定*
- 観光英語検定*
- 旅行業英語検定*

詳しくはP.16~P.18へ



進路・将来像

- 地図制作・測量関連企業
- 都市・不動産・コンサルタント関連企業
- 鉄道・運輸・流通関連企業
- 旅行・観光関連企業
- その他サービス業全般
- 各都道府県市区町村役場
- その他各種公務員
- 中学校社会科教諭
- 高等学校地理歴史科教諭
- 大学院進学 等

詳しくはP.34へ